



親としての思い

校長 渡辺 訓次

変異ウイルスの出現や感染拡大第4波襲来の兆候と、新型コロナウイルスへの対応はいまだ油断できない状況ではありますが、本日無事に始業式・入学式を終え、新入生47名を加えた全校児童373名で、在家小学校の令和3年度がスタートいたしました。ご入学・ご進級、誠にありがとうございます。心より、お祝い申し上げます。

あらためまして、本校3年目となります。校長の渡辺訓次です。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、十分な教育活動が実施できなかったことを残念に思うとともに反省をしております。今年度は感染拡大防止に努めながら、昨年度より少しでも充実した教育活動となるよう、実施方法を探求して学校経営を図ってまいります。

さて、保護者の皆様お一人お一人と話し合っていきたいことがあります。

「自分のお子様に、親として、どのように育てて欲しいとお考えでしょうか。」

何事にも物事を効率よく運ぶためには、目指すべきビジョンというものを見据えることが必要と考えています。子育ても然りではないでしょうか。在家小学校では、子供たちが健全に育つよう、下記のようなビジョン（あまり大きな変化がないのは、昨年度コロナ禍で制限されたことや、成果を出すために継続して取り組む必要があるためとご理解ください。）を設定し、達成できるよう職員が一丸となって教育活動を推進していく所存です。

新年度を迎えたこの機会に、保護者の皆様にも今一度、親としてお子様に、「こんな風に成長して欲しい」という思いや願いをビジョンとして、見据えていただければと思います。そしてさらに、お子様が今、そのビジョンに向かって成長しているかどうか、振り返ってみてください。子育ては、ただ「衣食住を与えていれば良い」という簡単なものではないと思っています。想像をしていたこととは、異なる方向に成長をしている場合もあるでしょう。もしそうだとすると、失敗だと子育てをやめるわけにはいきません。親として子育てをあきらめることは、「虐待」以外の何ものでも無いと捉えます。そんな不幸な子供たちを、生み出して良い理由などあってはならないと私は思います。

子供たちは日々成長をしています。良いことも、悪いことも様々なことから学んでいきます。ですから、大人が範を示さなければ、子供たちを正しく導くことができないこともあります。「大人より先に、悪くなる子供はいない」と私は思っています。だからこそ、親である保護者の皆様や我々教師は、子供を育てるという覚悟を持たなくてはいけないのです。どうか、本年度も在家小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、私たち教師と共に「チーム在家小」として、子供たちの健全育成を目指していきましょう。そのためには保護者や地域の皆様とのコミュニケーションが重要です。何か教育活動等で気になることがございましたら、遠慮なくご連絡いただければと思います。共に、進みましょう。

<目指す学校像> 「児童・職員・保護者・地域から愛され、誇りと思える学校～チーム在家小～」

- ◆児童…「仲間と共に、楽しく学習や活動に取り組める学校」
- ◆職員…「互いが支え合う、やりがいのある働きやすい学校」
- ◆保護者・地域…「子供の健全育成が図れる、信頼できる学校」

<目指す児童像>

- ◆自ら考え・学ぶ、意欲のある子（知）
- ◆素直な心で、自他を思いやれる子（徳）
- ◆あきらめずに、明るく元気に取り組む子（体）

<目指す教師像>

- ◆児童一人一人と共にある教師
- ◆「わかる授業」「できる授業」の実践に努める教師
- ◆保護者・地域の願いに応える教師

<学校教育目標具現化のための経営方針>

- ◆信頼される教職員の育成
- ◆主体的に考え、学び、実践する児童の育成
- ◆豊かな人間関係の育成
- ◆心身ともに健やかな児童の育成
- ◆美しい教育環境の創造